

事務事業名		建設改良に伴う施設整備事業		☒ 実施計画登載事業		☒ 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		予算科目	
	施策名	良好な生活空間の創造					
	基本事業名	上水道・簡易水道の整備					
根拠法令				☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～) ☒ 期間限定複数年度 【計画期間】 平成14 年度～平成32 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		水道 01 01 01	
所属	部課名	水道事業所					
	課長名	中井 吉隆					
	係名	工務給水係	電話 0192-27-3111				
	担当者	佐藤 悦夫	内線 176				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 水道水の安定した供給を図るため、既設の配水管等について、老朽化に伴う布設替や道路改良工事等により支障となる配水管等の布設替えを行う。また、既存33施設の機械・電気・計装設備等の更新を行う。 事業費は、工事請負費、測量・設計委託料、用地・補償費等である。							
全体計画(※期間限定複数年度のみ)							
総投入量 (千円)		事業費 財源内訳	国庫支出金				
			都道府県支出金				
			地方債	1,732,000			
			その他				
			一般財源	743,307			
			事業費計(A)	2,475,307			
人件費	正規職員従事人数	5					
	延べ業務時間	35,280					
	人件費計(B)	141,120					
	トータルコスト(A)+(B)	2,616,427					

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標																		
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 送配水管布設替工事 5件 ポンプ場等機械、電気、計装設備更新 1件 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 配水管布設替工事 7件、石綿管更新工事 1件 水管橋架替工事 1件 水源改修設計業務 1件等	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 水道管布設替延長</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>イ 水道設備更新・改修工事件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 水道管布設替延長	m	イ 水道設備更新・改修工事件数	件	ウ		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 導・送・配水管の総延長</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>キ 水道施設数</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>ク 老朽管等による水質苦情件数</td> <td>件</td> </tr> </table>	名称	単位	カ 導・送・配水管の総延長	m	キ 水道施設数	施設	ク 老朽管等による水質苦情件数	件
		名称	単位															
		ア 水道管布設替延長	m															
		イ 水道設備更新・改修工事件数	件															
ウ																		
名称	単位																	
カ 導・送・配水管の総延長	m																	
キ 水道施設数	施設																	
ク 老朽管等による水質苦情件数	件																	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 水道施設	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 有効率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ 有収率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 有効率	%	シ 有収率	%	ス		③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 配水管の布設替え及び水道設備を更新し機能強化を図る。								
		名称	単位															
サ 有効率	%																	
シ 有収率	%																	
ス																		
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 安全な水が安定して供給される。																		

(2) 総事業費・指標等の推移										
				年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)
				単位						
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円	14,200	30,700	55,500	86,900	115,300	228,500
			その他	千 円				1,454	23,490	
			一般財源	千 円	50,621	7,223	31,069	34,385	86,464	112,700
			事業費計 (A)	千 円	64,821	37,923	86,569	122,739	225,254	341,200
	人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5	5	
		延べ業務時間	時 間	2,240	2,240	2,240	2,240	2,240	2,240	
		人件費計 (B)	千 円	8,960	8,960	8,960	8,960	8,960	8,960	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	73,781	46,883	95,529	131,699	234,214	350,160	
⑤活動指標			ア	m	114	162	519	572	2,512	200
			イ	件	3	3	5	6	5	4
			ウ							
⑥対象指標			カ	m	262,190	263,000	263,191	270,837	273,000	276,000
			キ	施設	35	35	35	35	36	36
			ク	件	0	0	0	0	2	0
⑦成果指標			サ	%	82.6	78.7	80.5	81.6	81.4	82.0
			シ	%	78.8	74.7	76.3	77.5	77.7	79.5
			ス							

事務事業ID	0317	事務事業名	建設改良に伴う施設整備事業
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和29年4月の上水道供用開始以来、水道施設の老朽化が進み、また、道路改良等に伴い水道管の布設替え工事が必要となったことによる。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	水道施設の老朽化が進行しており、計画的な配水管の布設替え、設備更新等が急務である。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	住民(水道使用者)から老朽管等の更新の要望がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	水道施設を適切に維持管理することにより市民に安全な水が安定して供給され、その結果、快適な都市環境の向上が図られる。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	水道は公営事業であり、経済性とともに住民福祉の増進に努めなければならないことから妥当である。	
有効性 評価	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	対象、意図は水道施設の機能強化及び更新を行うものであることから適切である。	
	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	事業の健全な経営を維持するため、計画的な整備が不可欠である。	
効率性 評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	市民に安全な水が安定して供給できなくなる。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	現状では他の手段は考えられない。	
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	適正な管種・管径、機器等を選定しており、これ以上の事業費削減は困難である。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	現状ではこれ以上の人件費の削減は難しい。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	最終的には水道料金に転嫁されており、適切である。	

事務事業ID	0317	事務事業名	建設改良に伴う施設整備事業
--------	------	-------	---------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成25年度に策定した水道事業中期経営計画に基づき、改良更新事業を実施した。平成27年度までの予定事業費に対する進捗率は63%となっている。 今後とも、事業の健全な経営を維持するため、計画的な改良更新が必要である。																			
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☐ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 市道改良事業や新たなまちづくり事業など関連する他事業の進捗状況等について情報共有を図るとともに、緊急度、優先度等に基づく調整を行い、計画的な事業進捗を図る。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上		●																														
	維持			×																													
	低下		×	×																													
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 中期経営計画の進捗管理の徹底を図るとともに、費用対効果に留意し、将来を見据えた計画の見直しを検討する。																																	

4 事務事業の2次評価結果	(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	水道事業所長	中井 吉隆

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 今後とも、事業の健全な経営を維持するため、計画的な改良更新が必要である。																			
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																																
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																																
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																																
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																																
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☐ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 施設整備を効率的かつ計画的に実施する必要がある。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																														
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																		
		コスト																																
		削減	維持	増加																														
成果	向上		●																															
	維持			×																														
	低下		×	×																														

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
